

どくりつぎょうせいほうじんみずしげんきこうちくごがわきよかつすいたいさくほんぶ
独立行政法人水資源機構筑後川局 渇水対策本部
の設置について

本日、6月23日（日）13時00分に「独立行政法人水資源機構筑後川局 渇水対策本部」を設置し、迅速かつ的確な渇水対応を行ってまいります。

＜渇水対策本部の設置理由＞

- ① 筑後川水系では5月以降の降水量が例年を大きく下回り、筑後川の水量が減少していることから、5月中旬よりダムに貯留している水を流況に応じて継続的に補給しております。
水資源機構が管理する江川ダム、寺内ダム及び大山ダムでは、補給に伴いダムの貯水量が低下し、6月23日（日）0時時点の各ダムの貯水量は、江川ダム及び寺内ダムにあつては7,594千 m^3 （貯水率23.0%）で平年の27%、大山ダムにあつては6,084千 m^3 （貯水率55.3%）で平年の57%となっております。
- ② 両筑平野用水では、6月3日に両筑平野用水管理所及び寺内ダム管理所に渇水対策本部を設置し渇水対応を行っていましたが、江川ダム及び寺内ダムによる農業用水の補給をこのまま続けると、数日中には農業用水の貯水量がゼロとなるおそれがあることから、本日より、取水量を段階的にカットする節水対策の強化を開始しています。
- ③ また、筑後川下流用水においては、筑後川本川の流量低下のため、6月17日から取水量を約30～40%カットしていたところ、流況がさらに悪化することが予測されることから、本日より、段階的にカット量を増やし節水対策を強化します。

今後まとまった降雨がない場合には、さらに厳しい状況が予想されることから、引き続き、降雨、河川の流況等の情報をきめ細やかに把握するとともに、関係機関と緊密に連携して施設の適切な運用、水源情報の提供等に努めてまいります。
限られた水資源を有効に活用するため、節水にご理解とご協力をお願いします。



令和元年6月23日

独立行政法人水資源機構 筑後川局

配 布 先

国土交通省九州記者会
九州建設専門記者クラブ
久留米市政記者クラブ
佐賀県政記者クラブ
日田市政記者クラブ

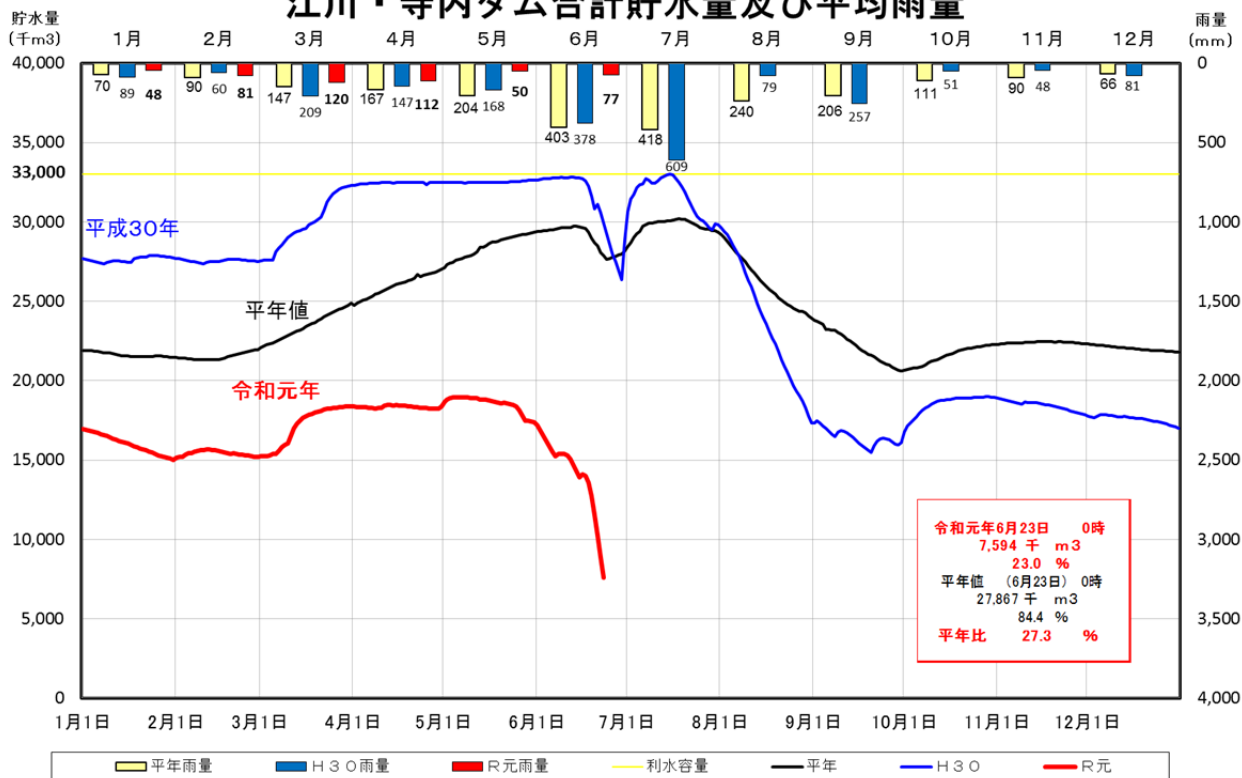
問 い 合 わ せ 先

独立行政法人水資源機構 筑後川局 総務課長
施設管理課長

なかやま
中山
おぐり
小栗

住 所： 福岡県久留米市東町42-21
電 話： 0942(34)7001(代表)

江川・寺内ダム合計貯水量及び平均雨量



大山ダム貯水量及び平均雨量

